

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

組織・グループ名	NPO 法人宮ノマエストロ
グループの属性・ 該当テーマ等	<ul style="list-style-type: none"> ●一般助成 ※いずれか1つに○をつける。 ①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等 ●協働モデル助成 ※本会の提示した該当テーマを記入 <p>[]</p>
助成事業名	認知症を予防・軽減する回想法の普及と回想法を使った認知症カフェ開催事業

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

回想法の基礎講座を開催し、多くの地域での地域サロン・認知症カフェ・家庭で、回想法が実践され、家に閉じこもりがちな認知症高齢者やその家族の不安を軽減し、地域で元気に過ごすことができること、また、それにより地域で高齢者を見守る環境ができることを目指しこの事業を行いました。

・回想法基礎講座の実施

講座実施については市域を超え広い地域の方が受講できるようにオンラインと会場対面のハイブリッド回想法基礎講座を2回開催し、対面18名、オンライン48名の計66名が受講しました。神奈川県との連携や、県内及び他県の行政、社会福祉協議会等での講座開催等、回想法での高い評価があり実績の豊富な団体（回想法プランニング）に、わかりやすい回想法の理解のための講座と実習指導を依頼しました。講座参加者はそれぞれに回想法を地域のサロン等に生かしていきたい等の目標を持っている方が多く、質問の量も多く、内容も具体的で深い内容でした。

・認知症カフェの開催

地域包括支援センター等とも連携し、認知症の方の通いの場となる認知症カフェを開催しました。15回の開催ができました。高齢の方のため、途中入院、体調不良が続くなど様々なご都合で通えなくなる方も多く参加メンバーの変動はありましたが、1回の参加者は認知症、MCI（軽度認知障害）の方等5名の予定でしたが、最終的には参加者は9人となり、延べ132人となりました。参加者は昔の思い出を語り合うことを心から楽しんでおられ、次回の開催を待ち望みながら帰宅されます。ご家族からの相談も多く、関係する組織等につながりもありました。

・認知症カフェ回想法実習

講座によって、回想法の概論を理解した後、これからボランティア活動を希望者している方を対象に、認知症カフェで回想法を実習することで回想法の担い手を育成していきました。カフェに参加の高齢者への影響を考え1回2人の定員を4名に増やし対応しましたが、実習のお断りをするほどでした。このコロナ禍により当日体調不良で欠席の方が出ることもありましたが、延べ49の方が実習できました。その方々はそれぞれの住居地域においてカフェ開催を計画しておられます。実習場所から遠い地域から実習のために通って来られる方もおられその熱意とお断りするほどの申し込みに、ニーズがあるという事が分かりました。回想法実施には参加者への配慮が最も大切ですが、多くの実習者を受け入れていくことも検討する必要があると感じています。

